

■高田保馬 社会学者・経済学者。マルクス・シュンペーター・ケインズに対抗意識を燃やし、独創的な貢献を行った。

たかたやすま

岩倉具視没・1883＝

現在の佐賀県小城郡三日月町の旧家に生まれる。父は神職で農業も営んでいた。この年はマルクスの没年、シュンペーターとケインズの生年にあたり、高田自身これらの事実を生前しばしば口にし、またこの3人を強く意識して対抗意識を燃やすことになる。

帝国憲法発布1889＝ 6歳：

大本教・・・1892＝ 9歳：

日清戦争始・1894＝11歳：

佐賀中学校，

田中正造直訴1901＝18歳：

第五高等学校を経て，

日露戦争終・1905＝22歳：

京都帝国大学文科大学哲学科で米田庄太郎に師事し，

韓国併合・・・1910＝27歳：卒業。大学院に進む。

明治天皇没・1912＝29歳：

大正政変・・・1913＝30歳：「分業論」，

第一次大戦始1914＝31歳：京都大学法科大学講師，

21ヶ条要求・1915＝32歳：「大数法論」，

民本主義・・・1916＝33歳：京都哲学会発会式公開講演会で講演。

本格政党内閣1918＝35歳：「社会学研究」，

第一次大戦終1919＝36歳：「社会学原理」。広島高等師範学校教授，

大暴落・・・1920＝37歳：「現代社会の諸研究」，

原敬首相暗殺1921＝38歳：*東京商科大学教授，

水平社結成・1922＝39歳：「社会と国家」_「社会学概論」，

関東大震災・1923＝40歳：「階級考」，

護憲三派圧勝1924＝41歳：「経済学研究」，

治安維持法・1925＝42歳：「階級及第三史観」。九州帝国大学法文学部教授を経て，

円本時代始・1926＝43歳：「社会関係の研究」，

金融恐慌・・・1927＝44歳：「人口と貧乏」，

共産党事件・1928＝45歳：「景気変動論」「経済学」，

世界恐慌・・・1929＝46歳：「価格と独占」。以後3年かけて「経済学新講(5巻)」_京都帝国大学経済学部教授に就任。

満州事変・・・1931＝48歳：「マルクス経済学新批判」「労働価値説の吟味」。「ふるさと 歌集」，

国際連盟脱退1933＝50歳：「経済原論」，

帝人疑獄事件1934＝51歳：「貧者必勝」「国家と階級」「マルクス経済学論評」，

芥川直木賞始1935＝52歳：「民族の問題」「利子論研究」，

二二六事件・1936＝53歳：「経済と勢力」，

日中戦争始・1937＝54歳：「経済原論 講義説明」「利子論」，

健保+総動員 1938＝55歳：「経済学概論」。翌年にかけて経済学部長をつとめる。

第二次大戦始1939＝56歳：「東亜民族論」，

大政翼賛会・1940＝57歳：「新利子論研究」「民族と経済」「勢力説論集」，

日米開戦・・・1941＝58歳：「民族論」，

・・・1942＝59歳：「民族耐乏」，

創価学会換拳1943＝60歳：歌集「洛北集」。民族研究所長を兼任。

年金+総武装 1944＝61歳：「統制経済論」。*京都帝国大学を退官。

敗戦・・・1945＝62歳：

新憲法公布・1946＝63歳：「価格・労銀・失業」「終戦三論」。京都帝国大学名誉教授。公職追放となり，

新憲法施行・1947＝64歳：「インフレーションの解明」「経済の勢力理論」「社会学の根本問題」「世界社会論」，

極東裁判決・1948＝65歳：「経済学原理」「経済学論」「最近利子論研究」「社会主義経済学入門」。_教職不適格者の指定を受けるが，

三大事件・1949＝66歳：「経済学方法論」「略説経済学」「労働価値説の分析」，

朝鮮戦争始・1950＝67歳：「社会科学通論」「社会学大意」「耐乏夜話」「マルクス批判」，

独立回復・1951＝68歳：「経済学講義(上)」，社会科学叢書「経済学入門(第1冊)」_。*取消され，大阪大学経済学部教授，

メーデー事件・1952＝69歳：社会科学叢書「社会学」，

TV放送始・1953＝70歳：「経済自立論」，

自衛隊発足・1954＝71歳：「経済学概説」，

55年体制始・1955＝72歳：「ケインズ論難 勢力説の立場から」「貧しき日本経済」。_退官し，大阪府立大学経済学部教授となり，

国連加盟・・・1956＝73歳：「社会主義評論」「消費函数の研究」，

なべ底不況・1957＝74歳：「学問遍路」，

美智子妃・・・1959＝76歳：「社会主義経済学」_主著になった「勢力論」，

安保闘争・・・1960＝77歳：

タイタイ病始・1961＝78歳：歌集「望郷吟」，

TV宇宙中継始1963＝80歳：_退任。竜谷大学経済学部教授となり，

東京初元カ 1964＝81歳：_宮中御歌会の召人を務め，

大学紛争始・1965＝82歳：退任。_文化功労者となり，

日中国交回復1972＝89歳：京都で_没した。社会学と近代経済学の両分野で第一級の理論的大著を多く含む107冊の本，500点余の論文を書いた。

「人づくり風土記(佐賀)」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，